

第 76 巻 (2022 年) 特集

1 月号 [No.1]	消化器外科 ロボット支援手術の導入と手術教育
2 月号 [No.2]	上部消化管領域再建手技—最近のトピック
3 月号 [No.3]	肝胆膵外科手術における術前・術後ドレナージ
4 月臨時増刊号 [No.4]	高難度肝胆膵外科手術アトラス 2022
4 月号 [No.5]	大腸外科医のための骨盤解剖学
5 月号 [No.6]	鼠径部切開法を見直す
6 月号 [No.7]	炎症性腸疾患の治療戦略と手術

第 75 巻 (2021 年) 特集

1 月号 [No.1]	消化器・一般外科領域の手術教育を考える
2 月号 [No.2]	食道癌・胃癌手術におけるリンパ節郭清の理論と手技
3 月号 [No.3]	肝胆膵外科における再切除と再手術—最新の治療戦略
4 月臨時増刊号 [No.4]	消化器・一般外科における Common Disease の手術—エルステから高難度まで
4 月号 [No.5]	大腸肛門外科における消化管ストーマ造設術とその関連手技
5 月号 [No.6]	消化器・一般外科医のための腹部外傷外科手術講座
6 月増大号 [No.7]	上部消化管手術におけるトラブルシューティング—困難症例・偶発症への対策
7 月号 [No.8]	解剖学的変異を考慮した下部消化管手術
8 月号 [No.9]	膵臓外科の基本手術 2021 —修練医がマスターすべき術式とは
9 月号 [No.10]	消化器外科における高齢者手術—各施設の工夫と留意点
10 月号 [No.11]	腹腔鏡・内視鏡合同手術 (LECS) の現状と展望
11 月号 [No.12]	修練医必携 腸閉塞の治療戦略と手術
12 月号 [No.13]	最新知見に基づく消化管外科の再手術—適応と術式選択

第 74 巻 (2020 年) 特集

1 月号 [No.1]	肝胆膵外科における低侵襲手術と臓器温存手術
2 月号 [No.2]	鼠径部ヘルニア手術を極める
3 月号 [No.3]	大腸癌手術におけるリンパ節郭清の理論と手技
3 月臨時増刊号 [No.4]	消化器外科手術の論点 2020 —誌上ディベートと手術手技
4 月号 [No.5]	内視鏡外科手術に必要な局所解剖—肝胆膵脾
5 月号 [No.6]	内視鏡外科手術に必要な局所解剖—食道・胃
6 月号 [No.7]	膵頭十二指腸切除に必要な外科解剖と手術手技
7 月増大号 [No.8]	大腸外科手術におけるトラブルシューティング
8 月号 [No.9]	解剖学的変異を考慮した上部消化管手術
9 月号 [No.10]	肝胆膵外科における Conversion Surgery
10 月号 [No.11]	直腸脱の手術
11 月号 [No.12]	消化器・一般外科手術における感染対策・周術期管理
12 月号 [No.13]	内視鏡外科手術に必要な局所解剖—結腸・直腸

第 73 巻 (2019 年) 特集

6 月増大号 [No.7]	肝胆膵外科手術におけるトラブルシューティング
7 月号 [No.8]	外科解剖に基づく腹腔鏡下横行結腸癌手術
8 月号 [No.9]	術前シミュレーション・術中ナビゲーションを駆使した消化管手術
9 月号 [No.10]	ICG 蛍光法を用いた肝胆道外科手術
10 月号 [No.11]	腹腔鏡下大腸癌手術におけるメインデバイスの選択
11 月号 [No.12]	いまだからこそ見直される乳房温存手術
12 月号 [No.13]	大腸外科における低侵襲手術の最前線

その他のバックナンバーは、弊社ホームページ (<http://www.kanehara-shuppan.co.jp/>) をご参照ください。
在庫のお問い合わせ・ご注文は、弊社ホームページ、TEL 03-3811-7184、FAX 03-3813-0288 にて承ります。
最新の第 76 巻 (2022 年) の定価 (税込) は通常号 2,970 円、増大号 4,950 円、臨時増刊号 8,800 円です。